

令和3年4月30日  
大潟土地改良区

国営事業説明会における質問と回答  
(3月24日～4月10日)

問⑪：県営事業を含んだ全体工事費はどのくらいとなるでしょうか

答⑪：県営事業の調査はまだ行われておらず、工事費は把握していません。

問⑫：同意署名簿の提出期限はいつですか。

答⑫：着工を遅らせないため、5月下旬には同意状況のとりまとめを行います。  
なお、集計には時間を要するため早めの提出をお願いします。

問⑬：現在パイプラインを使用している受益者から聞いたメリット、デメリット。

答⑬：メリットは「用水の安定供給」。デメリットは、「水圧が以前より下がった」という路線があります。この路線は、地盤沈下により水位が下がったのが原因であり、土地改良区が幹線用水路に角落としを設置し堰上げして水位を確保しています。幹線用水路が改修されれば解消されます。

問⑭：パイプライン化で水が見えなくなり、周りの人が気を遣わなくなることが懸念されます。そのことで末端に水が更にかかなくなると思います。

答⑭：パイプライン化によって流量が減ることはありませんが、パイプラインでもこれまでと同様に「周りの人の代かき状況に気を遣う」ようお願いします。

問⑮：国営事業は毎年施工すると思いますが、農作業が始まる春までに終わるのでしょうか。

答⑮：国営事業の工事時期は、用水路の改修が主となりますので、非かんがい期の10月～4月です。

問⑯：パイプライン化でボックスに水を入れて加圧するのでしょうか。

答⑯：ポンプ等で加圧することはありません。

問⑰：ゴミ、魚の対策は。

答⑰：スクリーンと除塵機による対策を検討しています。

問⑱：パイプライン化で既存の水路より流れる量は減ることはないでしょうか。

答⑱：国営事業説明会資料【答⑤】のとおり、変わりません。

問⑲：工事日程はどのようになりますか。

答⑲：国営事業の工事の日程は、かんがい期の通水に支障がないよう、路線単位

の単年度工事として実施します。また、その時期は、10月～4月の営農に支障のない範囲で行われます。

問⑳：小用のパイプライン化では農業機械が渡れるように鉄板など敷きますか。

答㉑：小用水路に関する要望や確認事項については、県営事業の調査が開始されてから行います。

問㉒：計画概要書は閲覧できますか。

答㉒：土地改良区事務所で閲覧できます。

問㉓：同意署名簿に「公告にあった事業を同意します」と書いていますが、見ていない人はどうでしょうか。

答㉓：公告の内容は事前に郵送したパンフレットに分かりやすくまとめていますので、ご確認願います。

問㉔：公告期間中に質問の回答を提出できればよかったですと思います。

答㉔：土地改良区も含めて関係機関が、コロナ対応などで時間を要したため、3月24日から回答を公表しました。

問㉕：国営事業は決まってからでしか話ができなかったと言いますが、全容がない中で国営事業の同意を得ることは理解しがたいと思いますが、事前に説明することはできなかったのでしょうか。

答㉕：審査手続きが終了していない状況で、国に説明を依頼することはできません。国営事業の詳細については、計画がある程度固まってからでないと、訂正カ所が生じ皆様の誤解や混乱を招く恐れがありますので、農林水産省の審査を経てから説明会を開催しました。なお、進捗状況については広報等でお知らせしておりました。ご理解願います。

問㉖：国営事業のことを書いている広報はいつ出したものですか。

答㉖：状況についてはほぼ毎回、理事長あいさつ等でお知らせしています。

問㉗：コロナウイルス感染症で分散しての開催ですが、そこででた質問と回答は皆様に共有できますか。そして、それがでたら同意に関して決めてもよろしいでしょうか。

答㉗：土地改良区のホームページへの掲載や、土地改良区において文書による配布を考えています。

問㉘：パイプラインを農業機械で壊した場合と、自然に起こった場合の責任者は誰になるか。

答㉘：基本的には原因者負担となりますが、状況により理事会判断となることも

考えられます。

問⑳：幹線用水路から小用水路の接続部分はゲートがつきますか。

答㉔：パイプライン化ですので、接続部分はバルブ対応で、ゲートはつきません。

問㉕：鳥獣保護区を通過している幹線用水路のゴミや、雑木等の問題がありますが、どのように対処しますか。

答㉕：ゴミ等が入らないような構造や、ルートを要望します。

問㉖：国営事業の対象面積では、ほ場にある作業小屋は含まれますか。

答㉖：農地台帳の現況地目が「宅地」の場合は受益から除き、「田」の場合は受益面積に算入しています。

問㉗：国営事業の負担金は賦課金として徴収されるのか、別で徴収されるのか教えてください。

問㉘：負担金は完成後の支払になりますが、積立、次世代からも徴収するとか色々やり方がありますが、どのように考えていますか。どのように賦課金を徴収しますか。次世代、積立等。

答㉗㉘：賦課金は施設の耐用年数、維持管理費の低減、積立金、借入金などを総合的に考える必要があり、今後、理事会・総代会に諮りたいと考えています。

問㉙：東日本大震災の被災地で、パイプラインが損傷しなかった事例がありますか。

答㉙：東日本大震災によるパイプラインの被災状況は、ネット上に数多く掲載されておりますので、ご覧下さい。なお、「損傷しなかった事例」は、問題とならないため、掲載はほとんどありません。

耐震設計は、損傷の有無だけで設計するものではありません。まず、施設の共用期間内に1～2度発生する「レベル1地震動」、発生する確率は低いが、極めて大きな破壊力のある「レベル2地震動」を設定します。次に、施設の重要度区分、耐震性能（健全性を損なわない、限定的な損傷に留める、致命的な損傷を防止する）を設定して耐震設計を行います。国営八郎潟地区では「レベル1地震動」で「健全性を損なわない」耐震設計を行っています。

問㉚：幹線用水路に水が見えないので、水管理が難しいのではないかと。

答㉚：幹線用水路のパイプライン化に伴う新たな水管理については、簡易になるよう国と検討してまいります。

問㉛：県営事業のパイプライン化では、農家の要望をしっかりとりながら行うようにしてほしい。

答㉛：農家要望については、内容によっては理事会や総代会に諮り、県に要望し

て参ります。

問③⑥：農家の負担を下げるように努力してきましたか。

答③⑥：これまでも、国に対して事業費と将来の維持管理費が安価で、軟弱地盤に適し、水質保全に資する工法を要望してきました。

問③⑦：現在幹線用水路が住宅地を通っている路線は、今後どうなりますか。

答③⑦：実施に当たって、工法やルートの詳細について国に確認していきます。

問③⑧：現在は水管理人に連絡して、水管理をしてもらっています。水管理施設を新設するということですが、今後どうなりますか。

答③⑧：水管理方法については、今後、検討致します。

問③⑨：昔パイプラインだったところが、開水路になった経緯があるので、パイプラインでは水量は確保できるか。

答③⑨：問①④を参照ください。

問④⑩：小用水路の管径はどのようになりますか。

答④⑩：令和3年度から開始する県営事業の調査により、決まってくると思います。

問④⑪：サイフォンの改修はどのようなものになりますか。

答④⑪：ステンレス腐食に耐える塗装で整備される計画です。

問④⑫：設計通りいかなかったらどうしますか。計画通りいかないと思います。

答④⑫：設計通りいかない場合は、その原因を突き止め、対応する必要があります。設計基準に基づいて設計することが基本であり、設計基準を適用できない場合は、研究機関に委託したり、試験施工を行ったりして実施すると思います。

問④⑬：パイプラインのソケットはどのぐらいですか。

答④⑬：口径や管種により異なりますので、メーカーのカタログ等を参照ください。

問④⑭：国営事業事務所が入る場所を使っていて、稲刈り時にはトラックの出入りがあります。どのぐらい事務所の出入りがありますか。

答④⑭：トラックの出入りに支障は生じないと思いますが、何かありましたら新たに開設される国営事業所に、ご相談ください。

問④⑮：日本海中部地震で幹線用水路が被災したというのはあまり聞いていないですけど、どの場所ですか。

答④⑮：災害復旧の資料によると、幹線用水路 94.8km の内 53.6km が被災しました。当時はまだ、鋼製コルゲート U 字フリーユームの腐食が進んでいなかったの

で、沈下した水路は布設替えで復旧できました。場所は、コルゲート U 字 フリュームのほぼ全線で、F2 幹線用水路では、「盛土（砂）が流失し、水路が宙に浮いた状態になった」と聞いています。

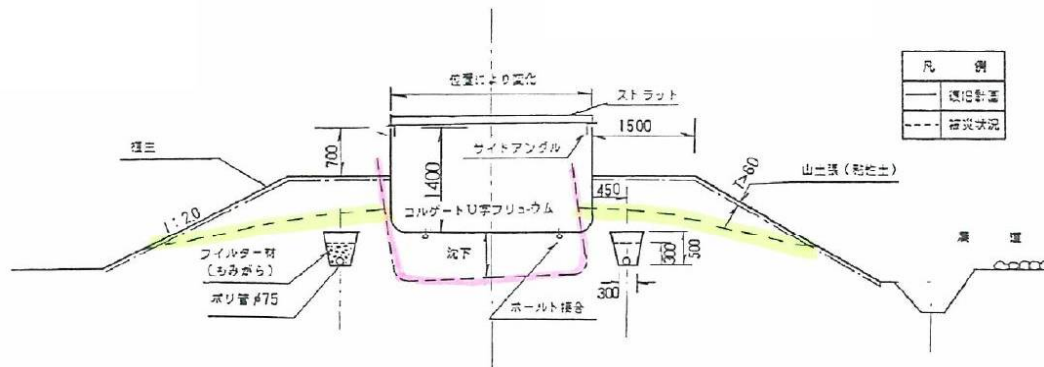
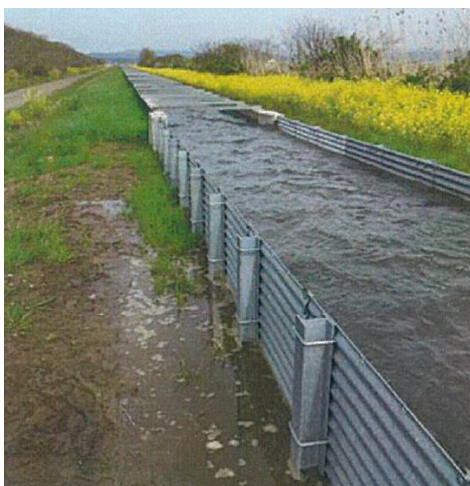


図-4 復旧計画標準断面

問④⑥：パイプラインにしたらどのぐらい安くなりましたか。

答④⑥：開水路（コンクリート水路+ステンレス製コルゲート水路）との比較では、令和元年度時点で8%です。ただし、コルゲート水路は構造上3枚に重なる部分があり、主にそこから漏水します。漏水が発生すれば、砂盛土が流失し、幹線用水路が沈下するため、シートを貼り付けて漏水を防止する必要があります。また、6月初旬に水草が発生し通水阻害となる他、小用パイプラインからほ場へ取水するバルブに水草が詰まる懸念があるため、床盤にコンクリート打設し、バックホーにより水草を除去できる構造にしなければなりません。そのため、これらの工事費を追加し、現状と同等な構造にすると、さらに価格差は大きくなります。

コルゲート水路試験施工での漏水



バックホーによる水草除去



問④⑦：暗渠排水の地下かんがいを利用してはいますが、それはパイプラインでも使えますか。小用水路パイプラインは地下かんがいのマスと繋げることができますか。

答④⑦：県営事業の調査が開始されてから、使えるように要望します。

問④⑧：弾丸暗渠の機械を土地改良区で貸すことは考えていますか。

答④⑧：考えていません。大潟村農業委員会が毎年設定している農作業標準作業料金の中に、「暗渠掘削」の単価がありますので、必要であれば、「弾丸暗渠」の単価を入れることを依頼することはできます。

問④⑨：県営事業はどのぐらい金額がかかりますか。賦課金の額、日程が決まったら速やかに組合員に周知してもらいたい。

答④⑨：まだ、県営の調査は行われていないので分かりません。賦課金の額等が決まりましたら、速やかに周知します。

問⑤⑩：高収益作物導入について、補助金の計画。それに伴う設備や売り手の紹介等は考えられますか。

答⑤⑩：タマネギについては、移植機などの専用機械や乾燥・貯蔵施設が必要なことから、JA 大潟村では補助事業を活用しながら、販路の確保も含め段階的に機械導入や施設整備を進めるとのことです。